

目 次

I	令和元年度事業報告	3
II	決算説明資料	41
1	令和元年度資金収支決算集計表	43
2	令和元年度社会福祉事業資金収支決算の前年度比較	
(1)	勘定科目別収入	44
(2)	勘定科目別支出	44
(3)	サービス区分別支出	45
3	令和元年度収益事業資金収支決算の前年度比較	
(1)	勘定科目別収入	46
(2)	勘定科目別支出	46
III	令和元年度計算書類等	47
1	計算書類	
(1)	法人全体	49
(2)	地域福祉推進事業拠点区分	58
(3)	収益事業拠点区分	68
2	附属明細書	74
3	財産目録（別紙4）	84
4	監査報告書	85

I 令和元年度事業報告

新宿区社会福祉協議会第4次経営計画2019～2023 施策と各事業

施策1 支えあい活動に参加するきっかけづくり	5
1. 福祉教育・福祉体験学習の推進	5
2. いつでも体験ボランティア	5
3. 介護支援等ボランティア・ポイント事業【区委託】	5
4. 視覚・聴覚障害者支援事業【区委託】	6
施策2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援	7
1. 生活支援体制整備事業【区委託】	7
2. 地域活動者実践講座	10
3. 認知症高齢者等支援ボランティア養成講座事業【区委託】	10
4. ふれあい・いきいきサロンの運営支援	11
5. 成年後見センター事業【重点事業】	11
6. 地域ささえあい活動助成金	12
施策3 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援	15
1. 暮らしの総合相談事業【重点事業】	15
(1)暮らしの総合相談	15
(2)車椅子・地域行事用機材の貸出	16
2. 自立相談支援・貸付事業【重点事業】	17
(1)総合相談件数	17
(2)自立相談支援事業【区委託】	18
(3)生活福祉資金貸付事業【東社協委託】	18
(4)受験生チャレンジ支援貸付事業【区委託】	19
(5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【東社協委託】	19
(6)応急小口資金貸付事業	19
3. 成年後見センター事業【重点事業】	20
(1)成年後見制度利用推進事業【区委託】	20
(2)法人後見事業	22
(3)地域福祉権利擁護事業【東社協委託】	23
4. 避難者支援	24
施策4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現	24
1. ちょこっと・暮らしのサポート事業	24
2. 地域見守り協力員事業【区委託】	25
3. ファミリーサポート事業【区委託】	27

施策5	さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展	28
1.	地域団体との連携【重点事業】	28
	(1)社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進	28
	(2)民生・児童委員協議会との連携	28
	(3)町会・自治会等地域団体との連携	29
	(4)出前講座の実施	29
	(5)NPO・新宿CSRネットワーク等との市民活動の支援	29
2.	生活支援体制整備事業（再掲）【区委託】	30
施策6	新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化	30
1.	総合的な広報事業【重点事業】	30
	(1)ボランティア情報の発信	30
	(2)広報紙「けやき」等の発行	31
	(3)ホームページ、SNSの運用	31
2.	広聴事業【重点事業】	32
	(1)情報公開・個人情報保護	32
	(2)第三者委員会の設置	32
施策7	地域福祉推進のための財源基盤の拡充	32
1.	会費会員の拡充【重点事業】	32
2.	共同募金の普及・啓発（募金文化の醸成）【重点事業】	32
	(1)共同募金会新宿地区協力会理事会	32
	(2)赤い羽根共同募金	32
	(3)歳末・地域たすけあい運動募金	33
3.	寄附の募集【重点事業】	34
4.	収益事業（自販機の設置等）【重点事業】	34
施策8	新宿社協の組織運営と組織基盤の整備	35
1.	新宿社協の組織運営	35
	(1)理事会・評議員会・推進部会の運営	35
	(2)社協部会の運営	36
2.	職員の育成	37
3.	IT推進・情報管理	37
施策9	災害対策の推進	38
1.	災害時危機管理対策	38
2.	災害ボランティアセンターの運営支援等	38

1 支えあい活動に参加するきっかけづくり

1 福祉教育・福祉体験学習の推進

種 別	対 象	内 容	延参加者数	
			令和元年度	平成30年度
福祉教育の支援	幼稚園・子ども園 小学校・中学校 高等学校	各学校が行う福祉体験学習等への企画協力や講師紹介を行う。 地域の障害者や高齢者等との交流を通して、地域の身近な課題や生活者の多様性を感じ、考える機会を支援する。	東地区 377 人	東地区 410 人
			中央地区 502 人	中央地区 458 人
授業協力	大学 専門学校		西地区 355 人	西地区 315 人
			計 1,234 人	計 1,183 人
企業等への支援	企業 地域団体	企業・団体が開催する、福祉やボランティア、多様性理解等の学びの場への協力	東地区 11 人	東地区 0 人
			中央地区 24 人	中央地区 25 人
職場体験学習受入	中学校	区立中学校が実施する「職場体験学習」における、生徒の受け入れを協力	西地区 166 人	西地区 144 人
			計 201 人	計 169 人
情報交換会 ※教育委員会主催 教員向け夏季集中 研修と同時開催	学校教諭 学校関係者 福祉教育協力者	1 障害者理解教育に向けて 2 学習協力者と教員による学習プランづくり (交流・意見交換)	東地区 0 人	東地区 36 人
			中央地区 0 人	中央地区 0 人
			西地区 54 人	西地区 42 人
			計 54 人	計 78 人
			東地区 1校 2人	東地区 0校 0人
			中央地区 2校 4人	中央地区 2校 4人
			西地区 1校 2人	西地区 1校 2人
			計 8人	計 6人
			実施日	実施日
			7月25日	7月26日
			場所	場所
			区立四谷小学校	区立愛日小学校
			参加者数	参加者数
			67人	69人

2 いつでも体験ボランティア

内 容	延参加者数	
	令和元年度	平成30年度
区内の施設・団体の協力のもと、初心者でも参加できるボランティア体験メニューを用意し、ボランティア活動の体験を促している。 「いつでも体験ボランティア」メニューに加え、夏休み期間(7月～9月)は、小・中学生や親子で参加しやすい61件の活動メニューを作成し、参加者を募った。 前年度同様、6月15日から活動メニュー表をホームページに掲載し、適宜、募集状況を更新し、最新の情報を提供した。 (期間:6/15～8/31、更新回数:14回)	308 人	292 人

3 介護支援等ボランティア・ポイント事業(区委託事業)

(1) 登録者数

	令和元年度	平成30年度
参加登録者数 (うち重複者数)	1,172 人 (288 人)	1,078 人 (254 人)
内訳:施設での活動者	575 人	532 人
地域見守り協力員	317 人	306 人
ちよこっと・暮らしのサポート 事業協力員	186 人	158 人
家族会の活動者	26 人	21 人
認知症介護者家族会の活動者	24 人	21 人
地域安心カフェの活動者	44 人	40 人

(2) 施設でのボランティア活動

	令和元年度	平成30年度
参加登録講習会の開催	4 回	5 回
研修・交流会の開催	1 回	1 回
受入施設数	77 ヲ所	71 ヲ所
受入施設での実活動者 ※	2,795 人	- 人

※1年間の実活動者延べ人数

(3) 施設・団体ボランティア受入学習会

目 的	施設・団体のボランティア受入担当者を対象に、ボランティアコーディネーターとしての学習の機会と、分野を超えた情報交換及び地域との協働への視点を養う。
第 1 回	開催日 令和元年7月11日(木) 場 所 新宿区社会福祉協議会 内 容 ボランティアコーディネーターの基本について、ボランティア受入れ担当者の講話、意見交換等 講 師 聖母ホーム 近藤秋子氏 参加者数 施設・団体職員 14人(14施設・団体)
第 2 回	開催日 令和元年11月22日(金) 場 所 戸塚地域センター7階 多目的ホール 内 容 「一芸ボランティア見本市」一芸披露活動者6団体の発表、ボランティアとボランティア受入れ担当者の交流会等 参加者数 施設・団体職員 17人(17施設・団体)、ボランティア39人 ※介護支援等ボランティア・ポイント事業活動者向け研修と合同開催

(4) 施設・団体ボランティアコーディネート事業

①登録数

	令和元年度	平成30年度
利用団体数	191 団体	184 団体
活動団体数	112 団体	106 団体
活動者数	1,526 人	1,360 人
延活動回数	8,485 回	9,476 回

4 視覚・聴覚障害者支援事業(区委託事業)

(1) 利用者数

	令和元年度	平成30年度
視覚障害者交流コーナー	延 3,886 人	延 4,643 人
聴覚障害者交流コーナー	延 880 人	延 1,016 人

(2) サービス利用件数

	令和元年度	平成30年度
代読・代筆サービス	延 93 件	延 97 件

(3) 講座の開催支援

講座名	回数等	内容	参加者数
「入門手話教室」 (新宿区聴覚障害者協会共催)	全15回 (8/31～3/21)	聞こえない人と関わりながら初心者向けの手話を学ぶ講座	18人 修了者 9人
視覚・聴覚障害者交流コーナー 合同講座「災害準備について考える」	10月5日(土)	障害当事者、支援者を対象に、災害発生時の備えや助け合いについて考える講座	76人
「ボランティア活動のための朗読講座」 (朗読ボランティアぐるーぷ・カナリヤ共催)	全2回 (2/5・2/15)	視覚障害者・幼児・高齢者を対象に、読み聞かせや朗読等の活動をしたい方、すでに活動している方を対象に、朗読の基礎を学び、地域でのボランティア活動につなげるための講座	延 53人 1回目 28人 2回目 25人

2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援

1 生活支援体制整備事業（区委託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、住民主体の訪問型・通所型サービス創出、生活支援の担い手養成、高齢者等が担い手として活動する場の推進等、地域全体で高齢者を支えるための仕組みづくりを行う。

(1) 生活支援体制整備協議会の運営

多様なサービス提供主体等が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場とすることが目的の協議会について、区と連携し、運営した。

回	開催日時	行事名	内容	出席委員
1	7月24日(水) 13時30分～15時30分	第1回生活支援体制整備協議会	・平成30年度の事業実施報告について ・令和元年度の区の取組みについて ・「通いの場の調査結果を受けて」意見交換	15人
2	3月30日(月) 10時～12時	第2回生活支援体制整備協議会	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	—

(2) 調整部会との連携

地域課題の整理や生活支援体制整備協議会に向けた議題の整理を行うための調整部会(高齢者総合相談センター主催)に参加し連携した。

開催日時	圏域	内容
6月11日(火) 10時30分～12時	東 (四谷・笹笥町・榎町)	・生活支援体制整備事業の方向性及びスケジュール ・令和元年度調整部会の方向性について ・今年度の地域支え合い普及啓発活動の検討及び共有
6月13日(木) 14時～16時	西 (落合第一・落合第二・柏木・角筈)	
6月19日(水) 10時～12時	中央 (若松町・大久保・戸塚)	
2月18日(火) 14時～16時	西 (落合第一・落合第二・柏木・角筈)	・令和元年度 活動報告 ・生活支援体制整備事業の推進へ向けた意見交換
2月28日(金) 15時～16時30分	東 (四谷・笹笥町・榎町)	
3月2日(月) 14時～15時30分	中央 (若松町・大久保・戸塚)	

(3) 普及啓発講座・情報交換会

効果的な事業展開を図るため、支え合いのしくみづくりに関する講座や情報交換会等を開催した。

①関係機関等への普及啓発

開催日時	場 所	内 容	参加者
7月29日(月) 10時～11時30分	北新宿第二地域交流館	北新宿第二地域交流館主催の「しんじゅく100トレ体験支えあい講座」での、住民同士の活動への支援事例の紹介及び「支えあいカードゲーム」を通じたグループワーク	20人
11月29日(金) 14時～16時	信濃町シニア活動館	信濃町シニア活動館主催の「ちょこっと・暮らしのサポート事業から地域の支えあい活動講座」での、住民同士の活動への支援事例の紹介及び「支えあいカードゲーム」を通じたグループワーク	7人

②普及啓発講座「地域の支えあい活動の実践～住民主体の活動と専門職との連携を考える～」

目 的	生活支援体制整備事業の普及啓発を図り、支えあい活動への関心と参加につなげる機会とする。
内 容	居場所活動の意義や可能性について理解を深める講演と、通所型住民主体サービス及びふれあい・いきいきサロン活動の実践報告 【日 時】3月10日(火)13時30分～15時30分 【講 師】東洋大学 ライフデザイン学部生活支援学科 教授 山本 美香氏 【実践報告】ふれあいサロンきずな(ふれあい・いきいきサロン)石鍋 千鶴子氏 介護予防の会・一二三(通所型住民主体サービス事業) 三上 美智子氏 上落合西町会(町会・自治会)谷口 俊顕氏
場 所	戸塚地域センター多目的ホール
備 考	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

③情報交換会

令和元年度の活動について、各地区の生活支援担当(第2層コーディネーター)と意見交換を行った。

開催日時	場 所	内 容	参加者
10月4日(金) 15時30分～17時30分	新宿区社会福祉協議会 会議室	意見交換「上半期生活支援担当(第2層コーディネーター)活動の共有及び今後の取組みについて」	20名

高齢者を地域全体で支えるしくみについて、各圏域の主任介護支援専門員との意見交換を行った。

開催日時	場 所	内 容	参加者
2月14日(金) 10時～12時	新宿区社会福祉協議会 会議室	・社協事業の紹介 ・介護保険事業サービスと地域住民の連携支援事例紹介 ・意見交換「専門職と地域住民が共に高齢者を支援するには」	19名

町会・自治会で地域の支えあいについて意見交換を行い、今後の活動について検討した。

開催日時	町会・自治会名	内 容	参加者
12月25日(水) 15時～16時30分	須賀町町会(四谷)	町会での「見守り」体制づくりの相談があり、地域の支えあいについて説明の後、町会独自の「見守り」のしくみづくりについて検討した。	12名
1月21日(火) 10時～12時	中井町会(落合第二)	町会福祉部から地域の支えあいについて相談があり、役員会にて地域の支えあいについての事例紹介及び「支えあいカードゲーム」を通じ、具体的な取組など意見交換を行った。	21名
2月25日(火) 10時～11時	東一町会(大久保)	町会長、婦人部、「ここにサロン」運営メンバーへ「地域の支えあい」について説明後、町会会館にて実施している「ここにサロン」について、地域の居場所としての活用など意見交換を行った。	7名

(4) 担い手養成講座「生活支援ボランティア養成研修」の開催

目的	高齢者が地域で自立した生活を送るための支援体制整備を目的に、区民を対象に介護保険制度の理解、高齢者の理解、生活支援の基本、コミュニケーションの基本等について学ぶ2日間研修を開催した。			
内容	回	開催日時	講座内容	講師
	1	11月26日(火) 10時30分～16時	介護保険制度の仕組み・地域包括ケアシステムとは／生活支援の基本的な考え方／身体と心の変化に伴う日常生活の変化／高齢者疑似体験／リスクマネジメントと緊急時の対応(支援時の注意、安全管理)	簞笥町高齢者総合相談センター、東新宿保健センター、看護小規模多機能型居宅介護 坂町ミモザの家、(社福)こうほうえんヘルスケアタウン下落合
2	11月28日(木) 10時～16時	栄養と食生活(調理、栄養、衛生管理)／家事支援のポイント(掃除、片付け、ゴミ捨て、洗濯、買物代行等)／コミュニケーションの基本／認知症の人の理解／コンプライアンス・研修の振り返り	管理栄養士、株式会社K-WORKER、東京女子医大 看護学科准教授、ミアヘルサ株式会社日生居宅介護支援事業所河田町	

(5) 支えあいの体制整備による取り組み

①相談実績

地区		内 容							地区別合計
		1 関係づくり	2 普及啓発	3 地域課題の 受け止め	4 ゆるやかな 見守り体制 づくり	5 支えあいの しくみの立 上げ支援	6 支えあいの しくみの運 営支援	7 福祉教育	
東	令和元年度	60件	6件	8件	6件	6件	6件	10件	102件
	平成30年度	59件	7件	5件	4件	5件	8件	9件	97件
中央	令和元年度	86件	11件	8件	4件	3件	18件	12件	142件
	平成30年度	78件	8件	9件	4件	12件	17件	9件	137件
西	令和元年度	103件	16件	12件	2件	12件	36件	11件	192件
	平成30年度	95件	10件	28件	14件	19件	43件	13件	222件
合計	令和元年度	249件	33件	28件	12件	21件	60件	33件	436件
	平成30年度	232件	25件	42件	22件	36件	68件	31件	456件

②会議及び行事等への出席

地区		内 容			地区別合計
		1 地域団体への会 議出席	2 地域ケア会議等 高齢者総合相談 センターへの会 議出席	3 地域行事への参 加・協力	
東	令和元年度	72件	10件	13件	95件
	平成30年度	45件	11件	16件	72件
中央	令和元年度	66件	40件	20件	126件
	平成30年度	51件	45件	22件	118件
西	令和元年度	43件	19件	33件	95件
	平成30年度	42件	20件	29件	91件
合計	令和元年度	181件	69件	66件	316件
	平成30年度	138件	76件	67件	281件

③ゆるやかな見守りについて各団体との連携

日常生活の延長で高齢者をゆるやかに見守る気配り・目配りの活動等、地域支えあいの活動について周知及び意見交換を行った。

(ア)町会・自治会関係

地区	周知団体	参加者数
東	箆筒町 新小川町自治会	10人
中央	大久保 新宿東二町会	12人
	戸塚 西早稲田二丁目ときわ町会	25人
西	落合第一 中落合一丁目みどり町会	16人
	落合第二 中井町会	21人

(イ)地域団体

地区	周知団体	参加者数
東	榎町 山吹町地域交流館	20人
中央	大久保 大久保地域ネットワーク会議	15人
西	角筈 明治安田生命	17人

2 地域活動者実践講座

目的	地域の一人ひとりが抱える暮らしの課題について、住民主体の新たな支えあい活動によって改善・解決を目指すことのできる人材養成
内容	地域の居場所づくりに必要な学び(居場所づくり活動の実践事例研究・見学、場の運営、コミュニケーションスキル等)のプログラム

回	開催日	内容及び講師
内容	1 9月13日(金)	・オリエンテーション ・「新宿区の現状を知る」 講師:新宿区福祉部地域包括ケア推進課 地域子育て支援センター二葉
	2 9月20日(金)	「居場所の意義について」 講師:日本社会事業大学社会学部福祉計画学科 倉持早苗氏
	3 9月27日(金)	「場づくり実践者の話を聞こう」 講師:サロン等の活動者(3団体)
	4 10月3日～10月14日	活動場所見学
	5 10月17日(木)	公開講座「コミュニケーション講座 ～相手と上手にかかわるために～」 講師:東京女子医科大学看護学部人文社会科学系 准教授 諏訪茂樹氏
	6 10月25日(金)	「わたしの居場所づくり計画発表会」 講師:日本社会事業大学社会学部福祉計画学科 倉持早苗氏
受講者	20人	
場所	・新宿区社会福祉協議会 地下会議室(第5回を除く) ・戸塚地域センター(第5回)	

3 認知症高齢者等支援ボランティア養成講座(区委託事業)

(1)養成講座

目的	認知症高齢者等を対象とした地域ボランティアが、認知症に関する知識を習得することで、対応力を向上させるとともに、地域活動支援の充実を図り、住民同士の支えあいのまちづくりを推進することを目的とする。
内容	令和元年10月31日(木)～11月8日(金)にかけて全3回の講座(講義及びボランティア体験実習)を実施した。 ・10月5日(火)認知症高齢者の現状や支援体制、家族介護者の介護体験談 ・10月31日(木)医師による認知症の基本知識、認知症高齢者への支援方法 ・11月8日(金)区内高齢者施設での体験ボランティア実習(認知症カフェ体験)・グループワーク
受講者	28人
場所	新宿区社会福祉協議会地下会議室及び区内高齢者施設

(2)ステップアップ講座

目的	平成27～30年度認知症高齢者等支援ボランティア養成講座修了者を対象に、認知症高齢者等に関する対応力を向上させ、地域活動支援の充実を図り、住民同士の支えあいのまちづくりを推進することを目的として、実施した。
日程	令和元年12月3日(火)
内容	認知症VR(バーチャル・リアリティ)体験講座、及び認知症施設職員による講義とグループワークを実施した。
受講者	17人
場所	新宿区社会福祉協議会 地下会議室

4 ふれあい・いきいきサロンの運営支援

(1)相談件数等

	令和元年度	平成30年度
新規立上げ相談	108 件	153 件
登録サロン継続支援	307 件	326 件
支援サロン件数	74 サロン	75 サロン
いきいきサロン傷害保険加入支援	70 サロン 25,948 人	71 サロン 25,925 人

(2)連絡会・交流会の実施

実施日	行事名	内 容	場 所	参加者
10月17日(木) 14時～16時	ふれあい・いきいきサロン活動者向け講座 (地域活動者実践講座公開講座)	令和元年度地域活動者実践講座公開講座と合同開催 「コミュニケーション講座」	戸塚地域センター	4人
12月5日(木) 10時～12時	ふれあい・いきいきサロン連絡会	1 講義 「地域の居場所力」 2 交流・グループワーク 「サロン運営の課題・悩みについて」	新宿区社会福祉協議会	30人

5 成年後見センター事業(重点事業)

20ページに記載

6 地域ささえあい活動助成金

(1) 地域ささえあい活動助成

赤い羽根共同募金と歳末・地域たすけあい運動募金を活用し、地域の活動団体による支えあい・助けあい活動及び高齢者、障害者等の当事者団体による福祉活動等、地域のニーズに基づいた取り組みに対し、令和元年度は全4回(3月・6月・9月・12月)、申請のあった39事業のうち、38事業、計4,100,000円を助成した。

☆…新規申請団体 新規申請団体数 3 団体 (前年度 4 団体)

主な分野	団体名	助成(申請)内容	決定額	種別番号
子ども・子育て	1 かしわぎ子ども食堂	子ども食堂開催に伴う会場使用料	96,000 円	3
	2 西新宿子ども食堂	子ども食堂開催に伴う会場使用料	92,000 円	3
	3 特定非営利活動法人 キッズ未来プロジェクト	子ども食堂実施に伴う会場使用料	96,000 円	3
	4 多世代交流ラボ にこりハハ	「親子フラダンス」の運営費用	30,000 円	6
	5 新宿こども食堂わかまつ	子ども食堂開催に伴う会場使用料	36,000 円	3
	6 新宿こども食堂たんすまち	子ども食堂実施に伴う会場使用料	36,000 円	3
	7 新宿区レクリエーション・インストラクターズクラブ	「つくるっておもしろい スリックあそびの広場」の実施費用	31,000 円	2
	8 新宿区更生保護女性会	「第15回ハロウィン・キッズ・コンサート」の実施費用	200,000 円	2
高齢者	☆ 9 つのはず合唱団	角筈地域のシニア世代を中心とした合唱を通じたサロンの運営費用	40,000 円	6
	10 にこにこサロン	新宿5,6,7丁目地域のシニア世代を中心とした体操通じたサロンの運営費用	20,000 円	6
障害	11 特定非営利活動法人 新宿西共同作業所ラバンス	精神障害者を対象とした「体験学習事業」の実施費用	200,000 円	1
	12 新宿区視覚障害者福祉協会	機関誌「白い杖」の音訳CD作成に係る費用	76,000 円	1
	13 特定非営利活動法人 クレインハウス	地域生活支援プログラム事業(集団音楽療法)の実施費用	120,000 円	1
	14 新宿スイッチ	「発達障害児をすくすく育てるためのプロジェクト」の実施費用	185,000 円	1
	15 新宿区肢体不自由児者父母の会	都外で開催される研修活動への参加費用	51,000 円	1
	16 お絵かきくらぶ あいじえん	クリスマス会の実施費用	26,000 円	1
	17 新宿区手をつなぐ親の会	会員(家族)同士の交流・情報交換を目的としたバス研修の実施費用	200,000 円	1
	18 特定非営利活動法人 新宿ライフケアセンター	障害者と地域の人々が共に参加する運動会の開催及びその準備会の実施費用	175,000 円	2
	19 特定非営利活動法人 言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音	「失語症コミュニケーション支援講座」の実施費用	112,000 円	2
	20 特定非営利活動法人 えがおさんさん	重度障害、医療的ケアのある障害児者と兄弟の地域交流事業	74,000 円	1
	21 新宿失語症友の会	日帰りバス郊外学習の実施費用	124,000 円	1
	22 新宿区聴覚障害者協会	障害当事者と支援者の研修旅行に伴う経費	144,000 円	1
	23 NPO法人 こっこつ	「学習会サロン(生涯学習事業)」及び「よしみちサロン(交流事業)」の実施費用	93,000 円	1
	24 社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	地域への情報広報事業	88,000 円	1
	25 社会福祉法人 新宿あしたの会 障害児等タイムケア事業 まいペース	地域交流を目的としたアメリカンダイナーの実施費用	164,000 円	2

多世代・地域交流	26	三世代ふれあい祭実行委員会	地域の多世代交流を目的とした「三世代ふれあい祭」の実施費用	200,000 円	2
	27	地縁法人 西富久町会	西富久地域住民の交流を目的とした「富久さくらサロン」の運営費用	100,000 円	7
	28	きりん公園サポーターズ	西大久保児童遊園での地域交流を目的とした「水まつり」の実施費用	21,000 円	2
	29	さくらのサロン	地域住民の交流を目的とした「さくらのサロン」の運営費用	30,000 円	6
	30	西落合ハロウィン実行委員会	西落合1、2丁目地域で行うハロウィンねり歩きイベントの実施費用	82,000 円	2
	☆ 31	神楽坂サウスゴスペルクワイア	15周年記念ライブの実施費用	270,000 円	4
	32	早稲田の街スプリングコンサート実行委員会	第10回早稲田の街スプリングコンサートの実施費用	200,000 円	2
その他	33	西落合サロン	食事サロンによる10周年記念レシピ集の作成	119,000 円	4
	☆ 34	任意団体 CO-FUKU	ファッションを通じた多様性理解を目的とした「シンコオブクジュク」の実施費用	200,000 円	2
	35	更生保護法人 斉修会	刑余者と協力者によるサマーコンサートの実施費用	43,000 円	1
	36	更生保護法人 斉修会	刑余者と協力者によるクリスマスコンサートの実施費用	37,000 円	1
	37	地区防災共助チーム戸山	防災をテーマとした地域交流サロンの運営費用	0 円	6
	38	特定非営利活動法人 新宿区レクリエーション協会	「新宿区レクリエーションフォーラム2019」の実施費用	200,000 円	2
39	特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS新宿-キッズ&ファミリー	孤立している乳幼児親子のための交流事業	89,000 円	2	

合 計	令和元年度	申請事業	39 事業	交付決定金額 4,100,000 円
		交付事業	38 事業	
	平成30年度	交付事業	43 事業	交付決定金額 4,667,000 円

助成金の種別一覧

種別番号	助 成 種 別	交付決定数
1	団体による当事者活動を支援する事業	14
2	団体による地域福祉の視点が盛り込まれた事業(町会を除く)	12
3	主に子どもを対象とした食事支援及び学習支援事業	5
4	団体の周年行事等、経常経費では対応できない活動(地域福祉につながるもの)(町会を除く)	2
5	地域福祉活動団体の立ち上げ	0
6	ふれあい・いきいきサロン等の継続活動支援	4
7	町会・自治会による支えあい・助けあい活性化の視点が盛り込まれた事業	1

(2)備品整備・施設整備助成

株式会社日本財託(新宿区西新宿)から寄附5,000,000円を受け、平成22年から区内福祉施設等の備品整備・施設整備のために助成している(事務費50,000円を除く)。選考委員会による選考の結果、申請21事業に計3,562,000円を交付した。

☆…新規申請団体 新規申請団体数 2 団体 (前年度 5 団体)

No.	団 体 名	助 成 内 容	決 定 額
1	社会福祉法人 新宿あした会 障害児等タイムケア事業まい ペース	障害児等が使用する施設内備品(クッションチェア、テレビ等)の購入	200,000 円
2	特定非営利活動法人 日本ピーススマイル協会	広報活動や報告、区民向け講座等で使用するパソコンの購入	183,000 円
3	特定非営利活動法人 クレインハウス	グループホームで使用する複合プリンターの購入	199,000 円
4	更生保護法人 斉修会	更生保護施設で使用する各種備品(電子レンジ、温水便座等)の購入	184,000 円
5	新宿区肢体不自由児者 父母の会	行事等で使用するホットプレートの購入	32,000 円
☆ 6	Wasedaノエルズ	区内施設の演奏時に使用するミュージックベルの購入	200,000 円
7	特定非営利活動法人 テラ・ガーデン新宿	サロン活動で使用するパソコンの購入	200,000 円
8	社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団 新宿区立新宿福祉作業所	障害者の就労支援(養蜂事業)で使用する蜂蜜採取用分離機の購入	174,000 円
9	社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	視覚障害のある職員が使用する備品(パソコン、音声ソフト)の購入	200,000 円
10	0歳子育て応援隊	サロン活動で使用するワゴンの購入(0っこひろば)	18,000 円
11	公益社団法人 東京都盲人福祉協会 就労継続支援B型事業所 パイオニア	就労支援事業で使用するパソコンの購入	198,000 円
12	社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会ヘレン・ケラー学院	臨床実習や区民向けマッサージ等で使用する電動ベッドの購入	133,000 円
13	地縁法人 西富久町会	サロン活動で使用する備品(血圧計、スタッフ用ベスト)の購入(富久さくらサロン)	100,000 円
14	新宿区手をつなぐ親の会	広報活動や区民向け学習事業で使用する備品(焼鳥焼き台、プリンター等)の購入	105,000 円
15	社会福祉法人 慈愛会	入居施設で使用するテレビの購入	200,000 円
☆ 16	特定非営利活動法人 キッズ未来プロジェクト	無料塾の子どもへ弁当を提供するための施設整備	500,000 円
17	社会福祉法人二葉保育園 二葉乳児院 地域子育て支援センター二葉	地域子育て支援拠点で使用する備品(マット、電動自転車等)の購入	200,000 円
18	NPO法人 こっこつ	障害当事者が使用する備品(パソコン、視線入力装置等)の購入	200,000 円
19	特定非営利活動法人 新宿ライフケアセンター	地域貸し出し用折り畳みスロープの購入	172,000 円
20	特定非営利活動法人 ふれいす東京	相談室の環境整備(ウッドカーペットの張替え)	93,000 円
21	特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS新宿 -キッズ&ファミリー	相談者のシェルターで使用する備品(テーブル、ベッド等)の購入	71,000 円

また、本年度は、新宿社協が地域住民向けに貸し出しをしている輪転機や、来所者のプライバシーを守るためのスピーチプライバシー、地域住民向けの出張講座にて使用するパソコンに活用させていただいた。

	備品名	助成額
1	輪転機	1,023,549 円
2	スピーチプライバシー	198,000 円
3	出張講座用パソコン	176,451 円

合 計	令和元年度	交付事業 21 事業		(交付額) 3,562,000 円 (内、返還額 10,000 円)
		地域貸出用輪転機等の購入及び事務費		1,448,000 円
	平成30年度	交付事業	32 事業	5,005,000 円

3 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援

1 暮らしの総合相談事業（重点事業）

(1) 暮らしの総合相談

①小地域活動支援(ボランティア・市民活動センター・東分室・ボランティアコーナーの運営)

(ア) 新規相談件数

拠 点	令和元年度	平成30年度
ボランティア・市民活動センター（高田馬場事務所）	延 1,081 件	延 1,091 件
ボランティア・市民活動センター（東分室）	延 339 件	延 332 件
新宿社協ボランティアコーナー	延 384 件	延 385 件
(四谷ボランティア・地域活動サポートコーナー)※	延 - 件	延 39 件
笹筒町ボランティアコーナー	延 71 件	延 54 件
若松町ボランティアコーナー	延 50 件	延 34 件
大久保ボランティアコーナー	延 21 件	延 64 件
落合第一ボランティアコーナー	延 64 件	延 90 件
落合第二ボランティアコーナー ※	延 97 件	延 - 件
柏木ボランティアコーナー	延 81 件	延 104 件
合 計	延 1,804 件	延 1,808 件

※ 2019年4月に四谷ボランティア・地域活動サポートコーナーを閉所し、新たに落合第二ボランティアコーナーを設置した。

(イ) ボランティアコーナー受付・問合せ件数

拠 点	内 容					
	総合相談				情報交換	
	ボランティア相談		一般相談			
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
(四谷ボランティア・地域活動サポートコーナー)	- 件	44 件	- 件	20 件	- 件	502 件
笹筒町ボランティアコーナー	83 件	92 件	29 件	53 件	784 件	1,157 件
若松町ボランティアコーナー	102 件	92 件	57 件	31 件	1,513 件	1,503 件
大久保ボランティアコーナー	95 件	80 件	33 件	20 件	1,115 件	976 件
落合第一ボランティアコーナー	112 件	117 件	55 件	22 件	1,279 件	1,209 件
落合第二ボランティアコーナー	76 件	- 件	62 件	- 件	1,624 件	- 件
柏木ボランティアコーナー	114 件	161 件	14 件	59 件	1,083 件	1,387 件
合 計	582 件	586 件	250 件	205 件	7,398 件	6,734 件

※ボランティア相談はボランティア活動希望及び利用希望の総数

(ウ) ボランティア保険の加入手続き件数

	令和元年度	平成30年度
ボランティア保険加入者 (うち天災プラン加入者)	8,322 人 (1,138 人)	9,393 人 (1,084 人)
行事保険加入者	158 件	192 件
行事保険(当日参加対応型)加入者	60 件	43 件

※行事保険(当日参加対応型)は、平成29年12月より開始

(エ) 使用済み切手の収集・整理

	令和元年度	平成30年度	送付先	用途
収集・整理数 (換金相当額)	69.2 kg (約 124,560 円)	80.8 kg (約 145,440 円)	公益社団法人 日本キリスト教海外 医療協力会	発展途上国における出生時に 必要な医薬器具・薬品購入経 費等

(オ) 食食用エプロン(一組2枚)の無料配布

本会が寄附を受けたタオル(新品)を活用し、ボランティアが作製したエプロンを各拠点で配布した。

配布先	令和元年度	平成30年度
個人	9 組	19 組
施設・団体	59 組	95 組

(カ) 普及・啓発

ボランティア・市民活動センターの普及宣伝のため、エコバック500枚を作成した。

(2) 車椅子・地域行事用機材の貸出

①保有台数

種 別	令和元年度	平成30年度
自走型(小型2・大型3含む)	110 台	130 台
介助型	100 台	111 台
子供用	6 台	6 台
合 計	216 台	247 台

②寄附を受けた車椅子と譲渡した車椅子

	令和元年度	平成30年度
寄 附	36 台	34 台
譲 渡	18 台	35 台

※貸出期間5年を経過した車椅子について、点検のうえ町会・自治会、福祉施設等に譲渡している。

③貸出拠点と貸出実績

(ア) 社会福祉協議会延べ取扱件数・・・短期貸出(2週間程度)及び長期貸出(4か月)

貸 出 拠 点	新 規		更 新	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
ボランティア・市民活動センター(高田馬場事務所)	142 件	185 件	17 件	29 件
ボランティア・市民活動センター(東分室)	58 件	55 件	3 件	3 件
(四谷ボランティア・地域活動サポートコーナー)	- 件	30 件	- 件	11 件
笹岡町ボランティアコーナー	18 件	37 件	5 件	4 件
若松町ボランティアコーナー	38 件	48 件	7 件	6 件
大久保ボランティアコーナー	60 件	77 件	11 件	16 件
落合第一ボランティアコーナー	29 件	34 件	10 件	1 件
落合第二ボランティアコーナー	33 件	- 件	3 件	- 件
柏木ボランティアコーナー	32 件	32 件	7 件	2 件
合 計	410 件	498 件	63 件	72 件

(イ) 特別出張所延べ取扱台数・・・短期貸出(2週間程度)

特別出張所名	令和元年度	平成30年度	特別出張所名	令和元年度	平成30年度
四谷特別出張所	44 台	35 台	戸塚特別出張所	3 台	3 台
笹岡町特別出張所	26 台	27 台	落合第一特別出張所	31 台	35 台
榎町特別出張所	32 台	41 台	落合第二特別出張所	26 台	64 台
若松町特別出張所	57 台	41 台	柏木特別出張所	41 台	33 台
大久保特別出張所	67 台	48 台	角筈特別出張所	20 台	37 台
			合 計	347 台	364 台

④地域行事務用機材の貸出

機 材 名	貸出件数		機 材 名	貸出件数	
	令和元年度	平成30年度		令和元年度	平成30年度
綿菓子機	16 件	24 件	テント(中)	6 件	6 件
ポップコーン機	5 件	10 件	鉄板焼機	9 件	9 件
臼と杵(セット)	8 件	11 件	輪投げセット	8 件	9 件
発電機	2 件	3 件	ゲーゴルゲーム	1 件	2 件
テント(大)	5 件	7 件	合 計	60 件	81 件

⑤福祉教育・体験学習用機材の保有台数・貸出数

(ア)高齢者疑似体験セットの貸出内訳

学校・団体等	高齢者疑似体験セット(大人) 【保有10セット】				高齢者疑似体験セット(キッズ) 【保有10セット】			
	令和元年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度	
	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数
小学校	0 件	0 セット	0 件	0 セット	1 件	10 セット	0 件	0 セット
中学校	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
高校	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
大学	1 件	5 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
専門学校	4 件	30 セット	5 件	44 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
企業	3 件	8 セット	3 件	16 セット	1 件	2 セット	1 件	1 セット
団体	5 件	22 セット	10 件	39 セット	2 件	9 セット	2 件	10 セット
合 計	13 件	65 セット	18 件	99 セット	4 件	21 セット	3 件	11 セット

(イ)体験用車椅子の貸出内訳

学校・団体等	体験用車椅子(自走式) 【保有台数30台】				スポーツ競技用車椅子 【保有台数13台】			
	令和元年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度	
	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数
小 学 校	9 件	94 台	6 件	72 台	1 件	1 台	1 件	9 台
中 学 校	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台
高 校	2 件	2 台	4 件	17 台	0 件	0 台	0 件	0 台
大 学	6 件	19 台	3 件	12 台	0 件	0 台	0 件	0 台
専 門 学 校	4 件	19 台	4 件	19 台	0 件	0 台	0 件	0 台
企 業	1 件	3 台	0 件	0 台	2 件	17 台	1 件	10 台
団 体	12 件	51 台	11 件	66 台	6 件	24 台	6 件	35 台
合 計	34 件	188 台	28 件	186 台	9 件	42 台	8 件	54 台

2 自立相談支援・貸付事業(重点事業)

社会的孤立、経済的困難、単身高齢世帯の増加、8050問題などを背景とした、今までの支援の仕組みでは解決が難しい複合的な課題も受け止め、区や関係機関、社協各事業間の調整を図り、総合的な相談支援を行う。

(1)総合相談件数

①新規相談件数

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1,009 件	658 件	744 件	707 件

(ア)男女別内訳

	男性	女性	不明	合計
令和元年度	492 人	508 人	9 人	1,009 人

(イ)年代別内訳

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不 明	合 計
令和元年度	19 人	47 人	139 人	205 人	193 人	112 人	76 人	32 人	186 人	1,009 人

②継続相談件数 ※借入世帯、各事業登録者への対応

継続相談件数内訳	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
継続相談件数(延べ数)	4,946 件	2,913 件	1,893 件	1,690 件

(ア)継続相談件数 内容内訳

	教育支援 資金	福祉資 金(福 祉費)	緊急小 口資金	総合支 援資金	不動産担 保型生活福祉 資金	受験生 チャレンジ 支援資金	応急小口 資金	自立相談 支援	ボランティ アセンター 事業等	合 計
令和元 年度	1,371 件	181 件	300 件	208 件	157 件	931 件	405 件	248 件	1,145 件	4,946 件

③事業利用決定件数

	教育支援 資金	福祉資金 (福祉費)	緊急小口 資金	総合支援 資金	不動産担 保型生活 福祉資金 (要保護世 帯向け含)	受験生 チャレンジ 支援資金	応急小口 資金	自立相談 支援	合 計
令和元 年度	17 件	1 件	0 件	1 件	2 件	109 件	26 件	9 件	165 件
平成30 年度	12 件	2 件	0 件	0 件	0 件	125 件	45 件	— 件	184 件

(2) 自立相談支援事業〔区委託事業〕 ※令和元年度より受託

	令和元年度
新規相談件数	127 件
利用申込件数	9 件
プランによる支援申込件数	6 件
支援調整会議開催回数	18 回
支援調整会議における取扱いケース数	29 件

(3) 生活福祉資金貸付事業〔東社協委託事業〕

①生活福祉資金貸付事業

種 類	令和元年度		平成30年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
教育支援資金 ()は人数	17(10) 件	11,673,000 円	12(8) 件	18,400,000 円
福祉資金・福祉費	1(1) 件	2,484,000 円	2(2) 件	1,844,000 円
福祉資金・緊急小口資金	0 件	0 円	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円	0 件	0 円
総合支援資金 ()は人数	1(1) 件	180,000 円	0(0) 件	0 円
うち住宅入居費	0 件	0 円	0 件	0 円
うち一時生活再建費	0 件	0 円	0 件	0 円
うち生活支援費	1 件	180,000 円	0(0) 件	0 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2 件	15,300,000 円	0 件	0 円
生活復興支援資金	0 件	0 円	0 件	0 円
合 計 ()は人数	21(14) 件	29,637,000 円	14(10) 件	20,244,000 円

【新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付】

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入減少した世帯に向けた、緊急小口資金・総合支援資金(生活支援費)の特例貸付の申請受付を3月25日から実施。

問合せ等 対応件数	申請件数	
	緊急小口資金	総合支援資金
293 件	63 件	0 件

※3/25から3/31までの実績

(ア)不動産担保型生活資金内訳

令和元年度貸付状況		平成30年度貸付状況	
累計貸付者数	2人	累計貸付者数	4人 (停止中1人・解約中1人含む)
累計貸付決定額	42,070,000 円	累計貸付決定額	31,016,549 円

(イ)要保護世帯向け不動産担保型生活資金内訳

令和元年度貸付状況		平成30年度貸付状況	
累計貸付者数	4人 (貸付限度額到達者 1人含む)	累計貸付者数	3人 (貸付限度額到達者2人含む)
累計貸付決定額	29,450,000 円	累計貸付決定額	12,841,961 円

②債権件数(債権管理を行っている件数) ※東社協発行償還状況一覧表による

	令和元年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額
教育支援資金・福祉資金(福祉費・緊急小口資金)	450	450	450	450
総合支援資金	508	508	518	518
生活復興支援資金	2	2	2	2
不動産担保型生活資金	2	2	4	4
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	4	4	3	3
離職者支援資金(平成21年10月25日終了)	69	69	69	69
合 計	1,035	1,035	1,046	1,046

③生活福祉資金償還率

	令和元年度		平成30年度	
	当年度	過年度	当年度	過年度
教育支援資金・福祉資金(福祉費・緊急小口資金)	67.39 %	20.71 %	71.70 %	19.13 %
総合支援資金	22.27 %	2.73 %	27.42 %	3.85 %
生活復興支援資金	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
離職者支援資金(平成21年10月25日終了)		0.00 %		100.00 %
合 計	49.65 %	6.37 %	54.27 %	5.10 %

(4)受験生チャレンジ支援貸付事業[区委託事業]

種 類	令和元年度		平成30年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
中3学習塾	33 件	5,785,400 円	39 件	7,212,900 円
中3受験料	29 件	830,700 円	36 件	782,300 円
高3学習塾	22 件	3,712,100 円	23 件	3,995,300 円
高3受験料	25 件	1,848,000 円	27 件	1,853,600 円
合 計 ()は人数	109 件 (63 人)	12,176,200 円	125 件 (68 人)	13,844,100 円

(5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業[東社協委託事業]

	令和元年度	平成30年度
	相談者数	1 人
決定件数(人数)	0 件(0 人)	3 件(3 人)
貸付不可者数	0 人	1 人

※東京都及び都内区市が実施する母子及び父子並びに寡婦福祉法による母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金の支給者が対象となる事業。

(6)応急小口資金貸付事業

	令和元年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額
当年度	貸付決定件数	26 件	45 件	
	貸付決定金額	1,815,700 円	3,727,000 円	
	償還件数	237 件	218 件	
	償還調定額	3,012,299 円	2,202,367 円	
	償還金額	1,920,602 円	1,949,695 円	
	未償還額	1,091,697 円	252,672 円	
	償還率	63.76 %	88.53 %	
過年度	償還件数	35 件	34 件	
	償還調定額	1,793,700 円	1,844,638 円	
	償還金額	212,783 円	246,500 円	
	償還率	11.86 %	13.37 %	
	延滞利子収入	5,000 円	42,768 円	
債 権 件 数	81 件	106 件		

(7)緊急援護事業

	令和元年度	平成30年度
支給・貸付件数	1,588 件	1,889 件
支給・貸付金額	3,613,821 円	3,526,994 円

3 成年後見センター事業(重点事業)

(1)成年後見制度利用推進事業[区委託事業]

①成年後見・権利擁護相談窓口の設置

(ア)体制

一般相談	月～金曜日の午前8時30分～午後5時
専門相談	毎週月・水・金曜日の午後1時～4時
	月曜日 司法書士(公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部)
	水曜日 弁護士(東京弁護士会)
	金曜日 社会福祉士(公益社団法人東京社会福祉士会権利擁護センター「ばあとなあ東京」)
訪問専門相談	司法書士、社会福祉士及び弁護士による訪問相談
推進機関支援弁護士	東京弁護士会弁護士による法的支援

(イ)実績

・新規相談者数

令和元年度	269 人
平成30年度	265 人

・相談者数(問合せ・相談延べ人数)

	相談者数	相談内容					
		一般相談	専門相談	司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問(司・社・弁)
令和元年度	2,315 人	2,161 人	154 人	37 人	62 人	51 人	4 人
平成30年度	2,579 人	2,432 人	147 人	43 人	49 人	48 人	7 人

※一般相談(職員による相談)の合計:問合せ・相談累計件数を含む。

・相談内容

内 容	件 数		内 容	件 数	
	令和元年度	平成30年度		令和元年度	平成30年度
法定後見	1,414 件	1,588 件	金銭管理	651 件	898 件
任意後見	203 件	163 件	財産保護	55 件	62 件
法定後見(法人)	34 件	199 件	生活	982 件	1,623 件
任意後見(法人)	169 件	258 件	虐待	4 件	3 件
相続	61 件	92 件	苦情	12 件	14 件
遺言	66 件	47 件	その他	447 件	489 件
※相談内容は複数カウント			合 計	4,098 件	5,436 件

・相談対応結果

対応・結果	件 数		対応・結果	件 数	
	令和元年度	平成30年度		令和元年度	平成30年度
制度説明	210 件	315 件	機関支援専門家	0 件	0 件
書類配付	90 件	107 件	金銭管理	91 件	122 件
申立書作成支援	49 件	55 件	財産保護	5 件	1 件
第三者紹介	16 件	11 件	生活支援	250 件	339 件
法人後見	6 件	6 件	助言	403 件	406 件
家裁同行	3 件	5 件	情報提供	1,760 件	2,100 件
申立・報酬助成案内	3 件	9 件	苦情対応・解決	1 件	3 件
専門相談員	335 件	375 件	その他	644 件	482 件
※相談対応は複数カウント			合 計	3,866 件	4,336 件

②広報・普及宣伝

(ア) 広報活動(制度・相談窓口・成年後見センター・講演会等案内)

・広報しんじゆく	19 回掲載	
・新宿社協だより「けやき」	6 回掲載	
・パンフレット「成年後見制度とは」	適宜配布	
・チラシ「成年後見制度のご案内」	適宜配布	
・成年後見センターだより	第 14 号	3,600 部発行
	第 15 号	3,600 部発行
・チラシ「成年後見センター 専門相談のご案内」	適宜配布	

(イ) 普及活動

・講演会・出前講座等の実施	12 回	340 人参加
・その他普及啓発活動(町会、民児協等)	延 62 回	

③後見人等養成・活動支援

(ア) 新宿区登録後見活動メンバー(社会貢献型後見人)支援・養成

	令和元年度	平成30年度
登録者数	61 人	72 人
連絡会・研修会開催	7 回	9 回
成年後見人等受任	13 件 (補助 1 保佐 3 後見 9)	13 件 (補助 1 保佐 2 後見 10)
後見監督等受任	13 件	13 件
成年後見人等 年度受任数	H22 3件、H23 1件、H24 3件、H25 5件、H27 3件、H28 5件 H29 3件、H30 2件、R1 4件 (受任13件、終了16件)	
後見監督業務	17 件 401 回	15 件 482 回

(後見監督業務は、終了した4件も含む)

(イ) 後見人等支援

	令和元年度	平成30年度
相 談	随時対応	随時対応
親族後見人交流会	後見人交流会と統合	1 回 1 人
後見人交流会(Café)	2 回 28 人 ※	3 回 42 人
個別支援	延 79 人 931 回 (後見監督17件、監督業務実施回数含む)	延 109 人 1006 回 (後見監督15件、監督業務実施回数含む)

※後見人交流会の3回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(ウ) 市民後見人養成基礎講習

受講者	令和元年度				平成30年度			
	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者
全体	25 人	12 人	12 人	7 人	37 人	19 人	15 人	13 人
男性		7 人	7 人	3 人		10 人	7 人	7 人
女性		5 人	5 人	4 人		9 人	8 人	6 人

※養成基礎講習説明会(新宿区実施)

・養成基礎講習

講習期間	令和元年10月2日～11月15日
講習時間	6日間、24時間

・登録後見活動メンバー登録選考

選考日	令和元年12月13日
選考内容	筆記及び個人面接
選考合格者	7人(男性3人、女性4人)

④地域の社会資源との連携・協力による支援活動(専門家・福祉関係者等の関係強化・連携)

	令和元年度	平成30年度
連絡会議等(民生児童委員協議会ほか)	6 回	0 回
意見交換等(弁護士会等専門職団体ほか)	19 回	38 回
事業協力(セミナー講師派遣、講座開催支援、視察受入等)	8 回	5 回

⑤成年後見推進機関の運営

運営委員会の開催	令和元年度	平成30年度
	2 回 ※	3 回

運営委員・・・ 弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、民生委員、社協理事、高齢者総合相談センター職員、学識経験者、福祉団体職員、行政職員 計11人

※ 第3回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

専門委員会の開催	令和元年度		平成30年度	
	0 回	令和元年度は未設置	0 回	平成30年度は未設置

⑥行政等との連携

(ア)新宿区との連携、福祉部との打合せ会等 3 回

(イ)東京都、東社協との連携、利用者支援区市町村連絡会会議等 4 回

(2)法人後見事業〔区補助事業〕(平成30年4月開始)

① 相談支援

(ア)新規相談者数

令和元年度	23 人
平成30年度	35 人

(イ)相談者数(問合せ・相談延べ人数)

	相談者数	一般相談	専門相談				
				司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問(司・社・弁)
令和元年度	672 人	662 人	10 人	2 人	5 人	3 人	0 人
平成30年度	499 人	491 人	8 人	2 人	2 人	4 人	0 人

②受任状況

(ア)法人後見受任検討委員会の開催

委員会の開催	令和元年度	平成30年度
	5 回	6 回

受任検討委員・・・弁護士、司法書士、社会福祉士、行政職員 計5人

(イ)受任概況

	法定後見		任意後見	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
後見人等候補者承諾状況	3 件	4 件	4 件	4 件
後見人等受任状況	7 件 (後見 5 件) (保佐 2 件)	4 件 (後見 3 件) (保佐 1 件)	7 件	2 件
後見等監督人受任状況	13 件	13 件	(後見監督人受任状況は再掲)	

(ウ)活動状況

	法定後見		任意後見	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
後見人等活動状況	1,976 件	536 件	358 件	40 件
後見等監督人活動状況	17 件	15 件	(後見監督人活動状況は、終了した4件も含む)(再掲)	

③ 広報・普及宣伝

(ア)広報活動(事業等案内)

- ・広報しんじゅく 4 回掲載
- ・新宿社協だより「けやき」 3 回掲載
- ・ぬくもりだより 1 回掲載
- ・パンフレット「成年後見制度とは」 適宜配布
- ・チラシ「新宿区社会福祉協議会が法人として成年後見人等になります」 適宜配布

(イ)普及活動

- ・講演会・出前講座等の実施 0回 0人参加
- ・その他普及啓発活動(町会、民児協等) 延 42回

(ウ)任意後見事業説明会の開催 4回 87人参加

(3)地域福祉権利擁護事業〔東社協委託事業〕

①事業実績

(件)

内 容	認 知 症	知的障害	精神障害	その他 ※1	合 計	
					令和元年度	平成30年度
問合せ件数 (制度・事業等)	9	0	4	30	43	24
初回相談件数	142	7	17	7	173	130
新規契約件数 ()は生活保護受給者数	21 (14)	2 (0)	4 (3)	1 (1)	28 (18)	36 (22)
解約件数 ()は生活保護受給者数	25 (18)	1 (1)	5 (2)	0 (0)	31 (21)	27 (9)
年度末の契約件数 ()は生活保護受給者数	66 (39)	11 (6)	24 (16)	8 (5)	109 (66)	112 (63)
うち通帳・ 印鑑預かり	25 (18)	5 (2)	12 (9)	3 (2)	45 (31)	43 (25)
うち書類等 預かり	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	5 (0)
延契約件数 ()は生活保護受給者数	91 (57)	12 (7)	29 (18)	8 (5)	140 (87)	139 (70)
専門員延相談援助件数	6,348 (2082)	677 (136)	1,721 (371)	265 (133)	9,011 (2,722)	9,604 (3,812)
()は訪 問や会 議等の 回数	2,929 (992)	447 (96)	1,479 (289)	146 (83)	5,001 (1,460)	5,659 (1,609)
契約外(契約前・解 約後等)	3,419 (1090)	230 (40)	242 (82)	119 (50)	4,010 (1,262)	3,945 (2,203)
生活支援員 ※2 延援助件数(契約者)	765	142	303	79	1,289	1,346

※1 高次脳機能障害、病気等

※2 生活支援員数 70名

②解約理由

(件)

死亡	施設入所・ 長期入院	判断能力 低下	本人自立	他地区へ 転居	その他
8	17	4	1	1	0

③成年後見制度の申立支援・連携及び活用実績

対象者	令和元年度	平成30年度
地域福祉権利擁護事業契約者	1 件	3 件
上記以外の相談者	30 件	33 件

・契約者外預かり

申立前、地域福祉権利擁護事業(地権)契約前の保全等

	保管件数	延べ件数	内 訳	
令和元年度	22 件	24 件	申立前 18 件	地権契約前 6 件
平成30年度	16 件	18 件	申立前 11 件	地権契約前 7 件

④その他

- ・地域福祉権利擁護事業 事業説明会の開催 3 回
- ・生活支援員連絡会の開催 2 回
- ・東社協等が主催する外部の専門員、生活支援員研修会に参加 8 回

4 避難者支援

(1)さんさん広場の運営支援

開催日時	場 所	内 容	開催状況	
			令和元年度	平成30年度
原則 毎月第2 土曜日 午後1時 ～4時	都営百人 町四丁目 アパート 14号棟 集会室	学生ボランティアによるネットワーク「joy study project(※)」が主体となって、主に子どもの学習と遊びの支援、家族交流の場「さんさん広場」を平成24年2月から周辺住民や支援団体と協力して開催している。 避難者及び既存住民の交流スペースとしているほか、地域情報の提供も行っている。 社協職員も避難者の状況や住民のニーズ把握等を行うため参加している。 (平成28年4月から学生団体と自治会の自主運営でサロンを数回開催している)	開催日数 延 2 日 参加者数 延 58 人 (1日平均 29 人) ※学生ボランティア 9 人	開催日数 延 7 日 参加者数 延 186 人 (1日平均 26 人) ※学生ボランティア 19 人

※ joy study project…

大学生のボランティアネットワークによる、区内に居住する東北からの避難者のサポートを目的とした支援活動である。

百人町周辺の既存住民との関係づくりをはじめ、地域の活性化に活動の重点を置き、地元住民や町会、支援団体や企業と連携した活動を展開している。

(2)情報紙「交流サロン通信」の発行及び配布

目 的	避難者向け情報紙を発行し、区所管課とともに戸別訪問配布により転居先などに関する情報、避難者に必要な情報などを届ける
内 容	・情報紙発行回数:12回 ・配布戸数:延169戸

4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現

ボランティア・市民活動コーディネート事業

	令和元年度	平成30年度
活動登録者数*	1,864 人	1,707 人
活動団体数	162 団体	154 団体
新規ボランティア活動希望者数 (内訳①②)	329 人	361 人

* ちょこっと・暮らしのサポート事業協力員、地域見守り協力員、施設でのボランティア活動者

①男女別内訳

	男性	女性	不明	合計
令和元年度	101 人	227 人	1 人	329 人
平成30年度	116 人	244 人	1 人	361 人

②年代別内訳

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不 明	合 計
令和元年度	0 人	127 人	59 人	21 人	27 人	33 人	24 人	38 人	0 人	329 人
平成30年度	2 人	124 人	60 人	22 人	27 人	44 人	38 人	41 人	3 人	361 人

1 ちょこっと・暮らしのサポート事業

(1)登録者数

	令和元年度	平成30年度
利用者	1,151 人	1,067 人
協力者	484 人	467 人
協力団体	8 団体	6 団体
延べ活動回数	延 3,208 回	延 3,427 回
新規マッチング数	367 回	425 回

主な活動内容	掃除	買い物	食事づくり	外出付添い	軽作業等 (1回のみ)
令和元年度	1,082/85 件	536 /55 件	414 /27 件	471 /31 件	326 件
平成30年度	1,176/69 件	429/36 件	437/35 件	377/29 件	350 件

※主として継続活動 有償活動数/無償活動数 ※主として無償活動

(2) 協力員向け研修会、懇談会の開催

実施日	場 所	内 容	参加者数
7月17日	四谷保健センター	「認知症の方への対応を知ろう」	21人

(3) ボランティア交流会の開催

実施日	場 所	内 容	参加者数
1月28日	学校法人日本教育財団 首都医校	「活動に活かせる ご縁づくり」	51人
1月29日	四谷地域センター		34人
1月30日	若松地域センター		31人

2 地域見守り協力員事業（区委託事業）

(1) 実施状況

地域見守り 協力員事業	令和元年度	平成30年度
利 用 者 数	593 人	599 人
協 力 員 数	374 人	364 人
延 べ 訪 問 回 数	延 15,007 回	延 15,661 回

(2) 新規登録者数

	令和元年度	平成30年度
新 規 利 用 者 数	80 人	99 人
新 規 活 動 者 数	55 人	56 人

(3) 地域見守り協力員・各地区連絡会・全体会の開催

地 区		実施日	場 所	内 容	参加者数
東	四 谷	6月25日	四谷保健センター	(第1部): 【四谷高齢者総合相談センターとの共催】 四谷地域見守り支え合い連絡会 (ぬくもりだより訪問配布に携わる関係者の情報交換会)	73 人
				(第2部): 事務連絡	17 人
	箆 筒 町 榎 町 同	6月14日	牛込箆筒地域センター	・経営計画の紹介 ・「支えあいの地域づくり」を目指して (カードゲーム) ・意見、情報交換 ・事務連絡	9 人 11 人
	榎 町	2月21日	榎町地域センター	・「えのき探検隊2020」～身近な地域資源を知って見守り活動に役立てよう～ ・牛込消防署からの協力のお願い ・意見、情報交換 ・事務連絡	13 人

中央	若大久松保塚同 戸合	6月19日	新宿区社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・経営計画の紹介 ・「支えあいの地域づくり」を目指して(カードゲーム) ・意見、情報交換 ・事務連絡 	8人
					9人
					15人
西	落合第一	6月14日	落合第一地域センター	<ul style="list-style-type: none"> ・経営計画の紹介 ・「支えあいの地域づくり」を目指して(カードゲーム) ・意見、情報交換 ・事務連絡 	11人
	落合第二	6月18日	落合第二地域センター		11人
	柏木・角筈	6月20日	柏木地域センター		29人
	落合第一 落合第二 同	2月18日	落合第二地域センター		21人

※榎町及び落合第一・落合第二以外は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月連絡会を中止した。

(4) 関係機関・協力機関との連携

高齢者総合相談センター等関係機関との連携のため、各地区の「高齢者見守り支えあい連絡会」に出席した。

連携機関名	実施日	内 容
四谷 高齢者総合相談センター	6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・四谷消防署による119番体験会 ・生活支援体制整備事業の紹介 ・地区ごとの意見、情報交換 ※地域見守り協力員連絡会と高齢者見守り支えあい連絡会の合同開催
筈笥町 高齢者総合相談センター	10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のまとめと見守りキーホルダーについて ・事例紹介 ・意見交換(高齢者の見守り、連携や連絡の取り方について)
榎町 高齢者総合相談センター	10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守りのポイントについて(全国消費生活相談員協会) ・グループワーク(語り合おう、日頃の見守り活動について)
大久保 高齢者総合相談センター	12月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区生活支援体制整備事業について ・大久保地区内での見守り活動について ・グループワーク(参加者各々の見守り活動報告)
戸塚 高齢者総合相談センター	11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・活躍者からのリレートーク(サロン運営者、民生委員、新宿諏訪町郵便局長、社協職員、高相C職員) ・グループワーク「助け合い体験カードゲーム」 ・「お互いに見守り・助け合う地域づくり」について(支えあいの地域づくりと具体的活動例の紹介、本日の意見交換のまとめ)
落合第一 高齢者総合相談センター	11月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養と人生会議について(新宿区健康づくり課在宅医療支援係) ・見守りキーホルダー事業、認知症ケアパスについて ・グループワーク(事例を通しての気づき)
落合第二 高齢者総合相談センター	9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害について(新宿消費生活センター) ・グループワーク(事例を通しての気づき) ・生活支援体制整備事業について

3 ファミリーサポート事業（区委託事業）

(1) 会員数

	通常預かり		うち病児・病後児預かり	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
利用会員	3,647人	3,429人	1,762人	1,540人
提供会員	368人	387人	219人	204人
両方会員	9人	12人	3人	4人
合計	4,024人	3,828人	1,984人	1,748人

(2) 相談・問合せ件数

依頼者及び依頼内容等		件数	
		令和元年度	平成30年度
利用会員	新規依頼(病児・病後児預かり依頼除く)	589件	592件
	病児・病後児預かりコーディネート	76件	77件
	その他	79件	152件
提供会員		98件	280件
未登録者(新規登録について・他団体からの問合せ等)		1,045件	1,320件
合計		1,887件	2,421件

(3) 活動実績

活動の範囲	活動件数(件)		活動時間数(時間:h)	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
1 保育園・幼稚園の送り	3,092	3,498	3,645.0	3,966.0
2 保育園・幼稚園の迎え	2,483	2,477	2,933.5	2,867.0
3 保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	458	595	810.0	999.5
4 保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	3,279	4,127	7,305.5	9,398.0
5 保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	282	429	625.5	1,073.0
6 放課後の預かり	829	1,142	1,934.0	2,694.0
7 学校から学童クラブへの送り	27	7	32.5	10.5
8 学校の迎え及び帰宅後の預かり	83	101	224.0	266.5
9 学童クラブの迎え	135	122	151.5	132.5
10 学童クラブの迎え及び帰宅後の預かり	561	529	1,129.5	1,074.5
11 学童クラブの帰宅後の預かり	15	14	38.0	27.5
12 学校の送り	454	254	653.5	422.5
13 学校の迎え	66	75	134.5	126.0
14 子どもの病気時の援助	17	37	76.5	183.0
15 保育園・学校等休み時の援助	1,131	894	3,837.0	3,134.5
16 保育園等施設入所前の援助	0	0	0.0	0.0
17 子どもの習い事・塾等の送迎	5,088	5,026	7,693.0	7,748.0
18 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	336	576	1,365.0	2,230.5
19 保護者等の求職活動中の援助	2	1	6.5	2.5
20 冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	523	582	1,387.5	1,572.5
21 保護者等の買物等外出の場合の援助	1,070	704	3,218.0	2,331.0
22 保護者等の病気時の援助	0	4	0.0	8.0
23 その他	143	42	253.0	156.0
合計	20,074	21,236	37,453.5	40,423.5

(4) 利用会員登録説明会の開催

登録	定期	窓口	訪問	子ども家庭支援センター	地域子育て支援センターふたば	四谷保健センター	土曜日	ゆったり～の	合計	
										令和元年度
新規	令和元年度	422人	51人	3人	47人	-人	9人	176人	12人	720人
	平成30年度	401人	61人	2人	55人	4人	-人	190人	13人	726人
病児・病後児	令和元年度	185人	6人	0人	25人	-人	4人	99人	3人	322人
	平成30年度	161人	5人	0人	24人	2人	-人	106人	5人	303人

※ 地域子育て支援センターふたばと四谷保健センターでの開催は、隔年で実施する。

(5) 提供会員講習会の開催

	申込者数		参加者数		修了者数	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
合 計	54 人	60 人	35 人	45 人	19 人	31 人

(参加者数・修了者数は補講者を含む)

(6) 会員向け情報紙「えがお」の発行(年2回)

第56・57号 (6月20日発行) (12月20日発行)	発行部数	5,000 部 (平成30年度発行部数:5,000部)
	仕 様	A4判 4頁
	発行部数	利用会員、提供会員、福祉関係機関等

5 さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展

1 地域団体との連携(重点事業)

(1) 社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進

新宿区内社会福祉法人連絡会の開催

新宿区内の社会福祉法人が相互に情報交換を行い、地域の課題やニーズを把握し、連携と協働により公益的な取り組みを行うことを目的としている。

令和元年度は、会則を一部改正し、加入要件を区内に事業所のある社会福祉法人と変更し、区内事業所に参加希望有無のアンケートを行った結果、参加団体数が28団体から45団体(27法人18事業所)に拡大した。また、メーリングリストの運用開始と参加団体向けハンドブックの作成により、情報共有のためのツールを整備した。また食品ロス問題への地域公益活動の一環としてフードドライブを実施し、連絡会参加メンバー及び地域の福祉施設へ食品を配布した。

幹事会	開催	4 回 ※第5回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	内容	連絡会の中から社協を含め7団体で組織する幹事会で、連絡会の具体的な運営に関し、協議を行なった。	
連絡会	実施日	内 容	
	6月18日	・平成30年度連絡会決算 ・会則の一部改正/監事の選任 ・令和元年度事業計画 意見交換 ほか	15 団体 16 人
	10月11日	・令和元年度事業計画 進捗報告 ・参加メンバーのためのハンドブックの作成 ・フードドライブの実施 意見交換 ほか	17 団体 22 人
	令和2年 2月17日	(講話)直近の社会福祉法人制度の動向と社会福祉法人に求められる人材対策を考える 【講師】社会福祉法人 二葉保育園 常務理事 武藤 素明 (グループ討議)法人運営、人材確保について	21 団体 27 人

その他、メーリングリストを活用し、団体間の交流と情報交換を随時行なった。

(2) 民生委員・児童委員協議会との連携

① 各地区民生委員・児童委員協議会との懇談会の開催

社協発足に深いかかわりを持ち、今日まで新宿区の地域福祉の向上に携わってきた民生委員・児童委員と社協職員との相互理解を一層深め、さらなる連携・協働をすすめていくため、希望があった各地区民生委員・児童委員協議会と懇談会を開催している。

地 区	実施日	場 所	内 容
落合第二	2月28日	落合第二 地域センター	社会福祉協議会について (新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)

② 公私立保育園児への絵本の贈呈事業の支援

民生委員・児童委員協議会が行う公私立保育園・子ども園への絵本の贈呈事業に協力を行なっている。

	令和元年度	平成30年度
保育園・子ども園	73 園 344,474 円	68 園 318,967 円

(3)町会・自治会等地域団体との連携
各地区町会連合会への社協事業説明等の実施

開催月	説 明 内 容
4月	① 第4次経営計画の概要説明 ② 社協ガイド・地区情報誌配布
5月	① ゆるやかな見守りについて ② ファミリー・サポート・センターについて
6月	① 新宿区成年後見センターについて ② 貸付事業について
7月	① 新会長の就任について ② 社協会費のご協力のお祝い及び社協会費を活用した事業紹介 ③ 赤い羽根・歳末たすけあい資材調査について
9月	① 令和元年度赤い羽根共同募金運動実施に伴うご協力のお祝いについて ② 災害時における新宿区社会福祉協議会の役割について
10月	① ちょこっと・暮らしのサポート事業について(冬支度のお手伝い)
11月	① 令和元年度歳末・地域たすけあい運動募金への協力依頼と資材送付について ② 出前講座の実施について
12月	① 成年後見制度について(成年後見センターだより配布) ② 貸付事業について(受験生チャレンジ支援貸付事業PR)
1月	① 成年後見制度について【若松町地区町連のみ実施】
2月	① 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会 社協部会委員の推薦について ② ふれあい・いきいきサロン(助成金の活用等)について
3月	① 赤い羽根／歳末・地域たすけあい運動募金のお礼と報告について ② 令和2年度地域ささえあい活動助成金について ③ 令和2年度町連での新宿社協の事業説明について

※8月は非開催

※2月、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の地区のみ実施

(4)出前講座の実施

番号	団体名	開催日	会 場	内 容	参加者数
1	学校法人日本教育財団首都医校	11月7日	首都医校	社協の概要、地域福祉活動	18名
2	明治安田生命新宿営業部	1月14日	明治安田生命新宿営業部	ボランティア・地域活動について(見守り・支えあいの地域づくりを含む)	17名
3	SSみるみる会	11月29日	信濃町シニア活動館	見守り・支えあいの地域づくりについて	7名
4	大久保地域ネットワーク	1月21日	都営西大久保アパート集会室	見守り・支えあいの地域づくりについて	15名
5	中井町会	2月7日	落合第二地域センター	見守り・支えあいの地域づくりについて	21名
6	西戸山タワーホームズ自治会	(3月1日)※	タワーホームズノース棟集会室	ボランティア・地域活動について 見守り・支えあいの地域づくりについて	—

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5)NPO・新宿CSRネットワーク等との市民活動の支援

①NPO等市民活動団体との協働支援

事業名	実施日	内 容	参加団体数
京王プラザホテル第16回ボランティア・プラザ	8月9日	区内福祉施設及び市民活動グループの紹介及び説明	8 団体

②新宿CSRネットワークの活動支援

	令和元年度	平成30年度	
加盟企業	19 社	18 社	
定例会	開催	4 回 (四半期に1度の開催)	
	内容	社会貢献活動に関する情報交換および各企画の検討	
支援事業	実施日	活 動 内 容	参加者数
	5月30日	ごみゼロデー(事務局取りまとめ分)	1 社
	8月9日	京王プラザホテル 第16回ボランティア・プラザ 区内物づくりボランティアグループの活動紹介及び 作品の販売	500 人
	8月9日	打ち水大作戦2019実施	11 社 120 人
	12月20日	年末クリーン大作戦(事務局取りまとめ分)	4 社
	10月5・6日	ダイバーシティ・パークin新宿2019	6 社 199 人

※CSRブースの来場者数

※CSR・・・企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)の略称

③福祉団体・施設等が行う行事等への支援

	令和元年度	平成30年度
行事等の後援・協力	28 件	28 件
行事等の共催	2 件	5 件
民間助成団体への推薦	8 件	11 件

2 生活支援体制整備事業 (区委託事業)

7ページに記載

6 新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化

1 総合的な広報事業 (重点事業)

(1)ボランティア情報の発信

①地区情報紙の発行

2019年4月から、ボランティア・市民活動情報紙「しずく」と各地区の地域情報を発信する「地区情報紙」を統合し、新たな「地区情報紙」として発行を開始した。また、ボランティア募集情報は、ホームページに掲載し、ボランティアに関する様々な情報を発信する。

地 区	情報紙名称	発行回数	発行月	発行部数	
四 谷 地 区	四谷だより	年 2 回	7・11 月	各回 2,500部	
笹 笥 町 地 区	たんすまちだより		4・10 月		
榎 地 区	えのきちょうだより		8・12 月		
若 松 町 地 区	わかまつちょうだより		5・12 月		
大 久 保 地 区	おおくぼだより		9・1 月		
戸 塚 地 区	とつかだより		7・10 月		
落 合 第 一 地 区	おちあいだより		5・2 月		
落 合 第 二 地 区	おちあいだより		9・1 月		
柏 木 地 区	よどばし「かしわぎだより」		8・2 月		
角 筈 地 区	よどばし「つのはずだより」		4・11 月		
体験ボランティア等の周知			年 1 回		6月
総合相談窓口等の周知					3月

配布先	ボランティア活動登録者、施設・団体、NPO、企業及び各種関係機関
掲載先	社協ホームページ、SNS ※

※ SNSはFacebookページを運用

②社協ホームページへの掲載

内 容	令和元年度	平成30年度
地区情報・事業周知等の記事掲載	112 回	73 回

(2)広報「けやき」等の発行

①広報紙「けやき」の発行(年6回)

第166号 (5月20日発行)	発行部数	108,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 102,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 6,000 部
	主な内容	社協会員募集、第4次経営計画の策定報告、2019年度事業計画・予算、会議報告、いつでも体験ボランティア、CSR、各種お知らせ
第167号 (7月20日発行)	発行部数	108,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 102,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 6,000 部
	主な内容	新会長あいさつ、市民後見人基礎講習、ふれあいいきいきサロン、地域活動者実践講座、平成30年度事業報告・決算、いつでも体験ボランティア、車椅子・地域行事用機材、CSR、各種お知らせ
第168号 (9月20日発行)	発行部数	108,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 102,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 6,000 部
	主な内容	赤い羽根共同募金、生活支援体制整備事業、生活支援ボランティア養成研修、認知症高齢者ボランティア講座、総合相談窓口、CSR、各種お知らせ
第169号 (11月20日発行)	発行部数	103,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 98,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 5,000 部
	主な内容	ファミリーサポート事業、歳末・地域たすけあい募金、社協の災害支援活動、受験生チャレンジ貸付事業、教育支援資金貸付制度、切手収集ご協力をお願い、CSR、各種お知らせ
第170号 (1月1日発行)	発行部数	103,000 部
	仕 様	タブロイド判 2頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 98,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 5,000 部
	主な内容	会長年始挨拶、職員集合写真、新宿社協かるた
第171号 (3月20日発行)	発行部数	103,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 98,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 5,000 部
	主な内容	地域活動案内(皆さんのはじめの一步を応援します)、社協部会報告、災害ボランティアセンター設置運営訓練、共同募金報告、地域福祉権利擁護事業、CSR、各種お知らせ

②社協事業案内パンフレット「新宿社協ガイド」の発行

発行部数	10,000 部
仕 様	A4判 12 頁
配布方法	民生委員・児童委員協議会、町会・自治会、関係機関・団体など

(3)ホームページ、SNSの活用

		令和元年度	平成30年度
新着情報等 内容の更新	ホームページ	182 回	131 回
	SNS ※	129 回	57 回
ホームページビュー数		158,973 回	144,521 回

※SNSはFacebookページを運用(H29年11月より開始)。

2 広聴事業（重点事業）

(1) 情報公開・個人情報保護審査会

① 情報公開・個人情報保護連絡会の開催

第1回 令和元年8月21日

- 議題
- ・保有個人情報の開示等の請求・協議会文書の公開請求事案について
 - ・消費生活上特に配慮を要する消費者の個人情報の提供について
 - ・個人情報取扱業務概要説明書について

(2) 第三者委員会の設置

① 第三者委員による会議の開催

第1回 令和元年8月21日

- 議題
- ・新宿区社会福祉協議会の苦情解決体制と第三者委員の役割
 - ・事例の紹介

7 地域福祉推進のための財源基盤の拡充

1 会費会員の拡充（重点事業）

	令和元年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額
個人会員会費	1,947 件	2,857,100 円	2,030 件	2,903,500 円
団体会員会費	471 件	2,358,000 円	461 件	2,330,000 円
合計	2,418 件	5,215,100 円	2,491 件	5,233,500 円

2 共同募金の普及・啓発(募金文化の醸成)（重点事業）

(1) 共同募金会新宿地区協力会理事会

第1回 令和元年8月2日(金)

出席者数 理事 12 人 監事 2 人

議決事項 議案第 1 号 共同募金会新宿地区協力会会長の選任について

議案第 2 号 令和元年度共同募金会新宿地区協力会共同募金(赤い羽根共同募金及び歳末・地域たすけあい募金)実施要綱の決定について

第2回 令和2年1月27日(月)

出席者数 理事 12 人 監事 0 人

議決事項 議案第 3 号 令和元年度東京都共同募金会 赤い羽根共同募金 地域配分(B配分)の推せんについて

議案第 4 号 令和元年度地域福祉活動事業の再配分について

議案第 5 号 令和2年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金の予算について

議案第 6 号 令和2年度地域福祉活動事業の配分計画案について

議案第 7 号 共同募金会新宿地区協力会規程の一部改正について

(2) 赤い羽根共同募金

募金は、福祉施設の改修や設備整備のほか、在宅の高齢者、障害者の支援など地域福祉の推進に役立てられる。募金額の約65%が地域ささえあい活動助成金として地域に配分され、他は都内の福祉施設や被災地支援に活用される。

- ・募金期間 令和元年10月1日～12月31日
- ・募金方法 町会・自治会を通じて募金依頼を行ったほか、募金箱を新宿区福祉部地域福祉課ほか各部署窓口、各特別出張所窓口、外郭団体窓口、社会福祉協議会等に設置した。

・募金総額

令和元年度	平成30年度
3,390,226 円	3,373,448 円

・街頭募金

	実施日	場 所	参 加 者	募金額
戸塚地区民生委員・児童委員及び助成団体・ボランティアによる街頭募金	10月1・2日 1日3回 2日3回	高田馬場駅構内	民生委員・児童委員 延16人 助成金交付団体 8団体 30人 ボランティア 2人 社協職員 延25人	120,710 円
落合第一地区・落合第二地区民生委員・児童委員及び助成団体による街頭募金	10月1・2日	中井駅構内	民生委員・児童委員 15人 助成金交付団体 1団体 2人 社協職員 5人	31,066 円
大久保地区民生委員・児童委員及び大学生による街頭募金	10月1日	新大久保駅周辺	民生委員・児童委員 6人 大学生 3人 社協職員 2人	10,894 円
柏木地区民生委員・児童委員による街頭募金	10月1日	西新宿駅周辺	民生委員・児童委員 7人 社協職員 2人	24,839 円
高校生・助成団体による街頭募金	10月1日	四谷三丁目駅周辺	高校生 10人 助成団体 1人 社協職員 3人	25,750 円
住吉町町会・住吉町共栄町会・若松町地区民生委員・児童委員及び牛込仲之小学校地域協働学校による街頭募金	10月5日	曙橋駅周辺	町会関係者 小学生、保護者 19人 民生委員・児童委員 9人 社協職員 3人	58,417 円

(3) 歳末・地域たすけあい運動募金

募金は、歳末・新年を迎える区内の在宅重度障害児者、女性更生保護施設入所者や乳児院児童などに見舞金品として贈呈したほか、翌年度、地域ささえあい活動助成金などの社会福祉協議会の事業を通じて住民主体の地域福祉活動の支援に活用する。

- ・募金期間 令和元年12月1日～12月31日
- ・募金方法 町会・自治会を通じて募金依頼を行ったほか、募金箱を新宿区福祉部地域福祉課窓口、各特別出張所窓口、外郭団体窓口、社会福祉協議会等に設置した。

・募金総額及び内訳

	収支項目	金 額	
		令和元年度	平成30年度
収入	募金額	9,155,369 円	11,100,085 円
	預金利子	0 円	0 円
	前年度繰越金	12 円	12 円
	収入合計	9,155,381 円	11,100,097 円
支出	援護費	3,562,557 円	3,535,118 円
	見舞金	3,390,000 円	3,380,000 円
	交通遺児	0 円	0 円
	自死遺児	0 円	0 円
	在宅重度障害児者	3,190,000 円	3,170,000 円
	女性更生保護施設入所者	200,000 円	210,000 円
	見舞品	172,557 円	155,118 円
	乳児院児童	172,557 円	155,118 円
	事務費	549,378 円	516,367 円
	地域福祉活動費	5,043,446 円	7,048,612 円
支出合計	9,155,381 円	11,100,097 円	

・街頭募金

	実施日	場 所	参 加 者	募金額
戸塚地区民生委員・児童委員及びボランティアによる街頭募金	12月 2・3日 各日2回	高田馬場駅構内	民生委員・児童委員 延8人 ボランティア 1人 社協職員 延24人	42,896 円
四谷佛教会による 托鉢募金	12月6日	新宿通り	四谷佛教会僧侶 15人	360,168 円
住吉町町会・住吉町共栄町会・若松町地区民生委員・児童委員及び牛込仲之小学校地域協働学校による街頭募金	12月7日	曙橋駅周辺	雨天のため中止	— 円
下落合東町会による 街頭募金	12月20～23日 各日2回	ピーコックストア目 白店前歩道	町会役員 延30人	67,365 円

3 寄附の募集(重点事業)

(1) 寄附金

	令和元年度		平成30年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
一般寄附金	365 件	5,652,844 円	352 件	38,565,191 円
指定寄附金	2 件	3,802,000 円	1 件	5,000,000 円
施設整備等寄附金	1 件	1,200,000 円	0 件	0 円
合 計	368 件	10,654,844 円	353 件	43,565,191 円

※株式会社日本財託からの寄附金500万円のうち、380万円は指定寄附金として備品整備・施設整備助成(株)日本財託助成金及び新宿社協の相談事業のためのスピーチプライバシーに活用し、120万円は施設整備等寄附金として新宿社協の輪転機及び出張講座用パソコンに活用した(詳細は、14ページ参照)。

(2) 寄附物品の受領・譲渡

	令和元年度	平成30年度
物品受領件数	103 件	175 件
地域団体・施設等への譲渡件数	77 件	126 件

※主におむつ類・タオルなど未使用の物品を受領・譲渡している。

4 収益事業(自販機の設置等)(重点事業)

平成25年度より自主財源の増収を図っていくために、自動販売機型募金箱による収益事業を開始した。特定非営利活動法人ハートフル福祉募金の設置した自動販売機の売り上げの一部が手数料として本会の収入となる。

・設置場所 社協高田馬場事務所 1台、東分室 2台、新宿中央公園 1台、
正覚寺(四谷地区) 1台、新宿清掃事務所 1台

・手数料収入額

令和元年度	平成30年度
511,728 円 / 6 台	468,686 円 / 6 台

8 新宿社協の組織運営と組織基盤の整備

1 新宿社協の組織運営

(1)理事会・評議員会・推進部会の運営

①役員会

(ア)会長・副会長会

計4回(5月24日、11月28日、2月21日、3月6日)の開催

理事会・評議員会開催前に実施し、予定議案について協議を行った。

(イ)監事監査

第1回 令和元年5月14日(火)

平成30年度に係る事業報告等、計算関係書類及び財産目録についての監査

第2回 令和元年11月11日(月)

令和元年度上半期事業報告及び各事業及び各拠点区分資金収支決算、貸借対照表等についての監査

(ウ)理事会

第1回 令和元年5月31日(金) 出席者数 理事 18人 監事 1人

議決事項	議案第1号	平成30年度事業報告及び決算報告の承認について
	議案第2号	理事及び監事選任候補者の推薦について
	議案第3号	評議員選任候補者の推薦について
	議案第4号	評議員選任委員会委員の選任について
	議案第5号	令和元年度第1回評議員会の招集について

第2回 令和元年6月26日(水) 出席者数 理事 15人 監事 2人

議決事項	議案第6号	会長、副会長及び常務理事の選定について
------	-------	---------------------

第3回 令和元年12月6日(金) 出席者数 理事 15人 監事 2人

議決事項	議案第7号	令和元年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)
	議案第8号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について
	議案第9号	理事選任候補者の推薦について
	議案第10号	評議員選任候補者の推薦について
	議案第11号	令和元年度第2回評議員会の招集について

第4回 令和2年3月16日(月)

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い書面同意となり、理事の全員18名の同意書及び監事の全員3名の確認書により、理事会の決議があったものとみなされた。

議決事項	議案第12号	令和元年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第2号)
	議案第13号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について
	議案第14号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について
	議案第15号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会再雇用職員就業規程の一部改正について
	議案第16号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会非常勤職員規程の一部改正について
	議案第17号	令和2年度事業計画及び資金収支予算について
	議案第18号	評議員会における決議省略の実施について

②評議員会

第1回 令和元年6月26日(水) 出席者数 評議員 17人 監事 1人

常務理事 1人

議決事項	議案第1号	平成30年度事業報告及び決算報告の承認について
	議案第2号	理事及び監事の選任について

第2回 令和元年12月17日(火) 出席者数 評議員 14人 監事 1人

常務理事 1人

議決事項	議案第3号	令和元年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)
	議案第4号	理事の選任について

第3回 令和2年3月26日(木)

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い書面同意となり、評議員の全員21名の同意書により、評議員会の決議があったものとみなされた。

議決事項	議案第5号	令和元年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第2号)
	議案第6号	令和2年度事業計画及び資金収支予算について

③評議員選任委員会

第1回 令和元年6月5日(水) 出席者数 委員 5人 常務理事 1人
 議決事項 議案第1号 評議員選任委員会委員長の選出について
 議案第2号 評議員の選任について
 第2回 令和2年1月22日(水) 出席者数 委員 5人 常務理事 1人
 議決事項 議案第3号 評議員の選任について

④推進部会の運営

各地区社協部会代表者9人、専門分野や広域活動者、企業、行政、学識者等9人の計18人の委員により構成されている。

第1回 令和元年 7月 19日 出席者数 14人
 内容
 ・新任委員の紹介
 ・平成30年度事業評価報告
 ・多様な生活課題を受け止める包括的な支援について
 ・各地区社協部会報告

第2回 令和元年 11月 29日 出席者数 15人
 内容
 ・令和元年度上半期事業報告
 ・令和元年度社協部会経過報告
 ・事業報告

第3回 令和2年 2月 28日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

(2)社協部会の運営

民生・児童委員協議会、町会・自治会関係者、地区協議会関係者、高齢者総合相談センター、地区介護事業所、高齢者施設・地域福祉団体等から選出の委員84名で、特別出張所地区ごと9地区で社協部会を運営した。(各地区委員は9人、柏木・角筈地区は合同のため委員12人)

令和元年度の検討テーマは「多世代にわたる地域での支えあいを進めるための課題及びしきみへの提案」で、各地区の社協部会で検討をすすめた。

【第1回】

地区	実 施 日			参加者数
東地区	四谷 5月 23日	箆笥町 5月 21日	榎町 5月 27日	27人
中央地区	若松町 5月 23日	大久保 5月 22日	戸塚 5月 10日	26人
西地区	落合第一 5月 17日	落合第二 5月 28日	柏木・角筈 5月 16日	26人

【第2回】

地区	実 施 日			参加者数
東地区	四谷 7月 26日	箆笥町 8月 20日	榎町 8月 5日	23人
中央地区	若松町 8月 22日	大久保 8月 7日	戸塚 8月 23日	27人
西地区	落合第一 8月 21日	落合第二 8月 27日	柏木・角筈 8月 28日	27人

【第3回】

地区	実 施 日			参加者数
東地区	四谷 11月 21日	箆笥町 11月 19日	榎町 11月 25日	25人
中央地区	若松町 11月 7日	大久保 11月 13日	戸塚 12月 2日	26人
西地区	落合第一 11月 20日	落合第二 11月 12日	柏木・角筈 11月 13日	27人

【第4回】全体会

圏域地区ごとに開催し、各地区社協部会での協議や取組みを共有し、意見交換を行った。

地 区	実 施 日	会 場	参加者数
東 地 区	2月10日(月)	四谷保健センター	22 人
中央地区	2月 6日(木)	新宿区社会福祉協議会	26 人
西 地 区	2月 5日(水)		25 人

2 職員の育成

(1)職員等の資質向上に向けての研修の実施

(回数、人数は延数)

①職層別研修

	令和元年度		平成30年度	
	参加者数	人	参加者数	人
中堅職員研修(職歴2年以上)	3 回	6 人	0 回	0 人
新任職員研修	2 回	4 人	5 回	5 人
係長昇任時研修	0 回	0 人	0 回	0 人
主任昇任時研修	0 回	0 人	1 回	1 人
その他(役職員研究協議会ほか)	1 回	4 人	2 回	6 人

②専門・業務研修

	令和元年度		平成30年度	
	参加者数	人	参加者数	人
地域活動支援	15 回	18 人	12 回	12 人
成年後見・地域福祉権利擁護	12 回	18 人	11 回	11 人
自立相談支援・貸付	12 回	14 人	7 回	7 人
ファミリーサポート	4 回	5 人	7 回	7 人
法人経営	12 回	14 人	21 回	21 人
その他(救命、認知症サポーター養成等)	7 回	28 人	2 回	6 人

③内部研修

	令和元年度		平成30年度	
	参加者数	人	参加者数	人
新任研修	3 回	15 人	6 回	19 人
集合研修	16 回	293 人	6 回	145 人
地域活動支援課研修	3 回	13 人	1 回	11 人
成年後見センター研修	1 回	11 人	0 回	0 人

※上記の内部研修のほか、昇任選考対象者の研修を随時実施している。

④資格取得支援

	令和元年度		平成30年度	
	受験者数	資格取得者数	受験者数	資格取得者数
衛生管理者	1 人	1 人	0 人	0 人
ITパスポート	3 人	3 人	3 人	3 人

(2) 社会福祉実習 2 人 26 日間 (12日間1名、14日間1名)

3 IT・情報管理

(1)IT運用・管理及び情報セキュリティ

①組織内IT推進体制を整備し、適正な管理運用を行った。

- ・IT推進会議(各課IT担当)によるシステム・インフラ等の運用・管理・利用サポート・各種調整等
- ・ITコンサルタント及びインフラ委託業者の助言による、情報セキュリティ対策
- ・遠隔地でのデータバックアップの実施(月1回)
- ・管理及び情報セキュリティの運用等強化(ITパスポート有資格者:10人)

②ITコンサルタントの支援により、安全な運用及びIT人材の育成を行った。

- ・コンサルタント委託先:株式会社ループス・ネット
- ・来所指導(12回)、IT担当者の管理運用(358件)及びその他相談への助言・情報提供(随時)
- ・職員のITリテラシー及びセキュリティ意識の向上支援(研修 新任:3回/IT担当:1回/eラーニング:3回)
- ・機器やシステムの管理・運用・導入、情報セキュリティ強化等への助言

- ③災害等への対応・検討を行った。
 - ・遠隔地でのデータバックアップの実施(毎月1回)
 - ・ITBCPの検討(社協防災計画・事業継続計画改定に伴う見直し)

(2)IT機器・ネットワークの活用

ITシステム・組織内イントラネット・ネットワークの活用により、情報管理・共有及び事務効率化を図った。

【システム】会員総合情報システム、ファイルサーバ、グループウェア、財務・給与・人事管理 他

【インフラ】クライアントPC71台、財務等PC2台、サーバー 他

【その他】ネットワーク機器、ウィルス対策ソフト、データバックアップソフト 他

* 機器入替等:PC67台(windows10)、ネットワーク(LAN等)、プリンター5台

9 災害対策の推進

1 災害時危機管理対策

- (1)大規模災害時に備え、システムデータの遠隔地バックアップを毎月実施した。
(8・3 IT推進・情報管理(1)③の再掲)
- (2)訓練の実施及び防災意識の向上
令和元年6月に消防計画の見直し・改訂を行った。また、令和元年7月3日、10日に消防訓練を実施し、改訂した消防計画に基づき、自衛消防隊の役割及び使用設備、器具について確認した。なお、同訓練では、高田馬場事務所館内の防火・防災設備、発報設備についても講座及び見学を行った。
令和元年12月に、区の災害対策本部設置運営訓練と同日に、新宿社協災対本部の設置・運営訓練を実施し、防災計画における各防災班の役割・動きを確認し、防災計画・事業継続計画の改訂に反映した。
- (3)台風15号の被害に伴う災害ボランティアセンター運営支援職員派遣協力
 - ・派遣期間 令和元年9月23日～27日、10月20日～24日
 - ・派遣先 鋸南町社会福祉協議会
 - ・派遣人数 各期間 1名 計2名
- (4)台風19号の被害に伴う災害ボランティアセンター運営支援職員派遣協力
 - ・派遣期間 令和元年11月4日～8日、11月13日～17日
 - ・派遣先 佐野市社会福祉協議会
 - ・派遣人数 各期間 1名 計2名
- (5)台風19号被災者支援のための都内一斉街頭募金
東京都災害ボランティアセンターの呼びかけによる募金活動に参加
 - ・実施日 令和元年 11月14日
 - ・場 所 西早稲田駅地上出口
 - ・参加者 職員 9名
 - ・募金額 20,260円
 - ・支援先 とちぎコミュニティ基金 頑張ろう栃木！募金
- (6)防災計画、事業継続計画の見直し
防災計画、事業継続計画について見直し、第4次経営計画の組織改正及び災害ボランティアセンターマニュアル等の改正を反映するとともに、内容の精査と両計画の一体化を図った。

2 災害ボランティアセンターの運営支援等

新宿区災害ボランティアセンター運営マニュアルを区と共同で作成し、8月に改訂版を発行した。

(1)「新宿区災害ボランティア養成講座」の実施

開催日時	内 容	講 師	参加者数等
6月30日(土) 9時30分～17時	【入門編】 1 新宿区の危機管理体制と被害想定等 2 新宿区災害ボランティアセンターの概要 3 災害の基礎知識、災害ボランティアの活動と心構え 【スキルアップ編】 4 災害ボランティアセンター運営マッチング体験カードゲーム;被災地のニーズとボランティアのマッチング	・一般社団法人ピースボート災害支援センター ・新宿区柏木特別出張所 ・新宿区社会福祉協議会	・全編参加:10名 ・スキルアップ編のみ参加(既登録者):1名 ・講座修了後の災害ボランティア登録者:3名
場 所	新宿区社会福祉協議会	災害ボランティア登録者総数:84名(令和2年3月末現在)	

(2)地域での防災講座等への協力

実施日	行事等名	内 容	イベント来場者数
9月1日(日)	しんじゅく防災フェスタ2019	岩手県釜石市社会福祉協議会および岩手県釜石市の復興支援団体 一般社団法人ゴジョると協働し、「ツナガル防災」「ヒロゲル防災」をテーマに、来場者とトークセッション、被災地の生きがい就労の薪割り体験、薪を使用して淹れた区内福祉作業所のコーヒーを提供した。	5,000 人
1月17日(金)	大久保2丁目町会防災訓練	災害ボランティアセンターの役割と被災地派遣報告について	40 人

(3)新宿区災害ボランティア登録者 情報交換会の実施

実施日	内 容	参加者数
1月23日(木)	(1)災害ボランティアセンター運営支援等の取組み報告 (2)被災地派遣報告 (3)情報交換	15 人

(4)新宿区災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

開催日時	内 容	参加団体等	参加者数等
2月15日(土) 13時～17時15分	1 講義 「災害VC運営における『情報』の取扱いについて～東日本大震災の経験から～」 講師:岩手県釜石市社協 地域福祉課課長 菊池 亮氏 2 机上訓練 ・各グループが災害ボランティアセンターと想定し、情報をテーマにした事例検討の実践	・新宿区地域振興部 地域コミュニティ課 ・新宿区社会福祉協議会	・区職員 :7人 ・社協職員 :28人 合計:35人
場 所	大久保地域センター		

※ 各年度の実績は、いずれも3月末日現在のものです。

※ 本会では、事業報告の附属明細書を作成しておりません。